

## クジラは海にいるのにどうして魚じゃないの

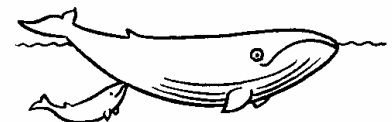
### クジラはお乳で育つほ乳類

海にすむとても大きな魚ということで、むかしの人もクジラのことを「大魚」と書いて、「いさな」とよんでいました。生物の研究が進み、動物を体の中のしくみなどからも調べるようになって、クジラは、ほ乳類であることが分かるようになりました。クジラには肺があり、空気を呼吸すること、また、子どもを産み、お乳で育てること、そして毛があることです。すべてのほ乳類は、この3つの特ちょうをもっています。海にすんで、魚のような格好はしていますが、クジラはほ乳類です。

### 大むかしに陸にすんでいたものが、再び海にもどった

もともと生命は海で生まれ、えらで呼吸するものが現れました。水辺にいたものは、肺で空気呼吸できるようになり、その一部が陸に上がり、恐竜やほ乳類へと進化しました。クジラの祖先は、大むかしに陸で生活していたほ乳類です。肺で空気呼吸することはそのままに、再び海の生活に適した体つきになったものです。イルカ、アシカ、アザラシ、ジュゴンなども、海にすむほ乳類です。（監修・今泉 忠明）

肺があり空気を呼吸する



乳を飲む

